

2021-22年度国際ロータリー第2650地区ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

Vol.4
October.2021

10



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22年度 国際ロータリー会長
シェカール・メータ

RI第2650地区スローガン

「活力と輝き」

—ロータリーの基本を大切に—

第2650地区 2021-22年度ガバナー
馬場 益弘

CONTENTS

P2 ガバナーズレター、地区行事一覧

P3 私のロータリー観

P4 地区事業報告

P6 地区事業報告

P7 クラブだより

P8 会員の動き

※2021年7月会員数の増減および出席率表は割愛しました。

ガバナー公式訪問

国際ロータリー第2650地区 2021-22年度ガバナー

馬場 益弘



本年度のガバナー公式訪問は、2021年7月8日に京都南口ロータリークラブからスタート致しました。その当日は元RI理事・パストガバナー千玄室様をお迎えして緊張感一杯の中、第2650地区で最初のガバナーアドレスをさせていただきました。

7月は滋賀県、奈良県、福井県、京都府の22クラブを訪問しました。会長幹事懇談会は各クラブから素晴らしい奉仕活動のご報告と、今後の課題や展望についての意見交換ができて有意義な懇談となりました。これもひとえに、ガバナー補佐の皆様が事前にクラブ協議会に出席して各クラブと協議を重ね、詳細な現状報告をしていただいたご尽力の賜物です。そして何よりも公式訪問に際しコロナ禍の中、温かくお迎えいただいた会長・幹事・理事役員の皆様をはじめクラブ会員の皆様に心から感謝申し上げます。

公式訪問はガバナーの重要な責務です。これからも「ATM」＝「Aは明るく!」「Tは楽しく!」「Mは前向きに!」をモットーに「活力と輝き」のある公式訪問と地区運営を目指します。クラブ会員の皆様にお会いできますのを楽しみにしております。



○ガバナー公式訪問（以下ロータリー情報ハンドブック改訂第3版より引用）

ガバナーは、個々のクラブ例会や複数クラブの合同例会といった機会を利用して、地区内の全クラブを訪問します。公式訪問の主な目的は、会員の意欲を高め、支援を提供することである。

- ・地区リーダーの第一の役割はクラブへのサポートであることを強調する。
- ・奉仕プロジェクトへの参加意欲を喚起し、クラブの活動を地域社会に紹介するよう奨励する。
- ・入会者にとって魅力があり、現会員が満足できるような活気あるクラブをつくるために、柔軟なクラブ運営や新しい試みを取り入れるよう奨励する。
- ・ロータリーの重要な問題への関心を高める。
- ・優れた活動を行ったクラブやロータリアンを、ガバナー自ら表彰する。

公式訪問は第2650地区内で「緊急事態宣言」等が発令された場合は状況を鑑みまして、各クラブ様と協議の上、日程変更など柔軟に対応して参ります。できる限り対面での公式訪問をしたいと考えており、日程を延長する形で調整しております。

10月 地区行事一覧

※掲載行事は、変更・中止されることもございます。開催の詳細は、実際のご案内をご確認ください。

2土	第2回ガバナー補佐会議 京都市内24RC ポリオ根絶チャリティゴルフ 地域別職業奉仕担当者懇談会・福井	ZOOM ZOOM	13:00-15:00 13:30-15:30	17日	地域別職業奉仕担当者懇談会・京都南部+京都市域3	キャンパスプラザ京都（予定）	13:30-15:30
3日	地域別職業奉仕担当者懇談会・滋賀	ZOOM	13:30-15:30	24日	職業奉仕担当者リモート懇談会	ZOOM	13:30-15:30
9土	IM第5組（奈良大宮RC）	ZOOM予定	13:30-16:30	30土	地域別職業奉仕担当者懇談会・京都市域1+2	未定	13:30-15:30
16土	インターアクト地区大会	近江八幡 ヴォーリズ学園	10:00-15:30	31日	地域別職業奉仕担当者懇談会・奈良	未定	13:30-15:30



京都市域第3グループ
ガバナー補佐

西村 信行
(京都市南RC)

ロータリーとは何ですか？

表題の紹介で、最近のロータリーの定義に最も即したロータリーのエッセンスを、ロータリーの友2021年8月号P.15の記事で「この様な教材があれば…良い」と、冊子名を紹介された“これだけは知っておきたい「ロータリーの基礎」(ロータリー情報研究会発行)”から引用してご紹介します。

世界のロータリー会員に「ロータリーで熱心に活動する理由は？」と問うと、答えは次の3つに集約されました。

①リーダーのネットワーク (Join Leaders) : ロータリーは世界のさまざまな国や職業のリーダーのネットワークです。

②アイデアを広げる (Exchange Ideas) : ロータリーは多様な会員のアイデアや職業の専門知識を生かして、地域

社会のニーズや問題に取り組みます。
③行動する (Take Action) : ロータリーは世界中の地域社会を長期的に改善するために行動します。

「ロータリーとは何ですか？」と聞かれたら、この3つのエッセンスをストーリー化して、明確に、わかりやすく説明できることが大切です。たとえば「世界中のロータリークラブには、地域社会の重要な問題に取り組もうとする有志が集まり、行動を起こしています。」 また「ロータリーを通じて、社会貢献に関心のある人たちと知り合い、一緒に活動し、世界中に友人や恩師となる人ができました。」と言うように、自分なりの説明を用意してみましょう。会員増強に有効でお勧めいたします。



京都市南第1グループ
ガバナー補佐

裏出 豊
(京都山城RC)

ロータリーへの思い

私は、これからのロータリーは、時代に合わせて変化をしていかななくてはならないと思いますが、変化を続けてもロータリーの基本だけは大切にしていきたいと考えております。

ロータリーに入会させて頂いた頃に、奉仕は理念・心であり、ロータリーの進むべき途の基本である五大奉仕について、繰り返し先輩から教わりました。

その基本である五大奉仕の一つである職業奉仕は、ロータリーがロータリーである所の奉仕の在り方であり、ロータリアンの生業のすがたでもあります。身に着けた理想的な奉仕の理念を、自分自身や仲間のものだけにしないで、社会に広めていただきたい。

クラブ奉仕は、例会出席であり、例会があるから出席するのではなく、出席するために例会が開かれるのです。寛容の精神を基に信頼する仲間が集まる例会では、先ず先輩に声掛けをして下さい。会員にとってどんな例会になっていくかは、会員次第であります。

亦、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕、寄付行為も対外的な奉仕活動であり自己研鑽のためにあります。

どうか新入会員の皆様・入会年度の浅い方々も、ロータリーの進むべき途の基本である五大奉仕の理念、理想の実践に向かって踏み出して頂きたいと思っております。

インターアクトOne Day 夏期研修

【開催日】2021年8月3日(火) 【開催場所】リーガロイヤルホテル京都「春秋の間」及びZOOM

地区インターアクト委員会



8月3日(火)リーガロイヤルホテル京都にてインターアクトOne Day夏期研修が開催されました。本来、今年度の夏期研修は8月1日～4日の3泊4日の行程で、1日は大阪国際空港から鹿児島空港に飛び、指宿の薩摩伝承館見学と夜はミーティング、2日は知覧武家屋敷から知覧特攻平和会館を視察し、夜は鹿児島市維新ふるさと館 元特別顧問福田賢治様による「薩摩と明治維新」についての講義を受け、3日は鹿屋を訪れ航空基地史料館を視察し昼からは、千玄室様をお迎えし特別講演を聴講し4日は世界遺産 仙巖園と集成館を訪れる予定でした。研修中は第2730地区のインターアクターとも交流をし、一緒に学校の授業では知ることの出来ない平和学習をテーマに、命の尊さについて学び、見て・感じ・自分の心で考える研修にしたいと考えておりました。

しかし、新型コロナウイルスの感染状況により、インターアクト夏期研修が危機管理上の判断で鹿児島に訪問することが出来なくなり、中止するという決断が下されました。これは昨年の夏の終わり頃から長い時間をかけて準備してきたこともあり、地区インターアクト委員会としては、苦渋の決断で、楽しみにしていたインターアクター達のがっかりする姿が思い浮かばれ、身を切る思いでした。昨年度も新型コロナウイルス禍の状況でまだまだ予想がつかず、ミャンマーでの夏期研修を断念した経緯があり、今年度は当初から海外の夏期研修は諦め、国内にて夏期研修を計画してきました。

新型コロナウイルスの猛威は収まるどころか感染数は昨年より増えました。ただ、1年以上経った現在は、データが集まりワクチ

ンの接種も進み、重症者の数が減り、ある程度の予測がつくようになって参りました。このことを鑑み、何とか二年続けての中止は避けたく、別の形での夏期研修が出来ないか模索し始めました。と言いますのも、ロータリアンは、自分が望めば一旦ロータリアンになれば、一生ロータリアンでいることが出来ますが、インターアクターは18歳までという制限があります。最近では、中高一貫校がIACというクラブもございますが、高校が基盤となる場合、通常、高校3年生は就職・進学にからみ、活動は1年、2年の実質2年間で活動期間となります。2回続けて夏期研修が中止となることは、インターアクトクラブに入会して一度も夏期研修に参加する機会が無く、卒業していくということになります。2年前に第2650地区内のインターアクトクラブの例会訪問をしましたが、その時インターアクターとの交流で、アクターに「どうしてインターアクトクラブに入会しましたか？」という質問をしたところ、先輩からインターアクト夏期研修で凄い経験をしたということ聞き、私も参加したくて入会しましたと言う意見が少なくありませんでした。

そのことを思い出し、何としてでも二年続けての中止は避けたいという気持ちが地区委員会内で多数を閉めました。ただ、そうは言っても内容をどうするか、問題が山積みでしたが、今出来ることを模索しておりましたところ、今回の夏期研修の講演者でもある千玄室様との調整が整い8月3日(火)に2650地区内での講演をして頂けることとなりました。このことを受け、事前説明会を開催致しましたリーガロイヤルホテル京都のご厚意もあり、一日だけです夏期研修を開催する運びとなりました。

そこで役に立ったのが、地区委員会は2年前から危機管理を取

り上げ真剣に危機管理体制について少しずつ委員会内で話し合いがもたれておりました。これが幸いして、すぐさま危機管理に関しての対策を考え直し、蔓延防止措置宣言下でも夏期研修が開催できる体制の充実を図りました。

地区委員会では、連日連夜臨時委員会をZOOM上にて開催し、どのように開催できるか役割分担を決め、各担当が問題点を話し合い、担当によっては開催当日になるまで、ほとんど十分な睡眠がとれない委員も出て参りました。しかしそのような中でも、地区委員はお互いに、アクターの為に「今、何が出来るか？」を考え、色々な問題も多く出て参りましたが、「全てはインターアクターの為に！」を心に想い、進めて参りました。

今回の夏期研修は、馬場益弘ガバナー、地区青少年奉仕担当の徳尾隆次副幹事長を会場に、ZOOM上では、青少年奉仕担当諮問委員松原六郎パストガバナー、谷内弘照幹事長を迎え、京都府内の方に出席をお願いし、実際夏期研修参加予定者に集まって来て頂きましたが、それ以外のインターアクター・顧問、当地区・2730地区ロータリアンはZOOMで参加して頂きました。会場の参加者32名、ZOOMにての55名を数え、総勢80名を超える参加となりました。研修会の前半は千玄室様の特別講演。後半は5班に分かれて、千玄室様の講演を聴いてそれぞれ感じたことをディスカッションしてもらいました。

千玄室様の講演は、馬術の話から始まり兵役の話、米国との教育の違い、特に躰の話「心の涵養」から大和民族の素晴らしさ、それを守り育てるという話。ご自身がどのように特別攻撃隊白菊隊員として特攻訓練を受け、鹿屋海軍基地に赴いたか。戦争当時の状況、実際特攻していった仲間の想い、戦争が終わったの慰霊祭での出来事など話して頂き、「平和という言葉を使わない和やかな世の中があって欲しい。平和、平和と言っている間は、平和は来ないんだよ。我々が特攻で死んだって、平和がくるのか?」「ロータリーは勉強する場であり、死ぬまで学ぶ。知らないことにチャレンジしよう」「海軍時代仲間、あれもやりたかったけど、出来なかったな…。みんなそれが心残りであった。いつでもディスカッションしながらみんなと知恵を分け合う。[いのち]とは何か?いのちの[い]は、いきる。[の]は生きるためには、のぞみを持たなくてはならない。[ち]は家族の血。自分の命を大切にする。」

「みんながやさしくお茶を点て、勧める。人を見下ろすとか見下ろすとか差別・区別の無い、みんな一緒、平等の世界。何のために奉仕をするのか?みんなお互いに平等の中に楽しく感謝しながら生きていくという姿を作って行かなくてはならない。その未来を持っているのが、インターアクトです。ロータリーがなぜロータリーアクトやインターアクトを始めとした青少年に力を入れているか?

老いていくロータリーではない。あなた方若い力をこのロータリーに注いでほしい。大きなカンフル注射をして欲しい。そしてこのロータリーが、“Shaping Future” 色々な意味で将来に対する足掛かりを今作らなければならない。今作ることによって、明日がある。今日をもって、インターアクトの皆さんが命の灯(ともしび)をつけて欲しい。あなた方一人一人が聖火ランナーだ!オリンピックじゃないよ。奉仕の為に聖火ランナーになって、未来を築き上げて欲しい。」と力強くおっしゃり、講演の最後を締められました。

講演の最後に、インターアクターを代表して龍谷大学付属平安高等学校IACの栗林美妃さんが謝辞を述べ花束贈呈をいたしました。そして貴重なお話を頂戴するばかりでなく、千玄室様からはインターアクターの為に多額のご寄付も頂戴いたしました。そして講演の後に、地区委員が鹿児島鹿屋航空基地史料館からLIVEで中継して、千玄室様の写真やその当時の携帯品、艦上0式戦闘機をはじめ多くの展示品を映し出してくれました。

夏期研修の後半は、会場に集まったインターアクターを中心に班を形成し、残りの4班はZOOMにてのディスカッションとなりました。インターアクト委員会では、初めての試みですので、途中フリーズ等不具合が発生したりしましたが、意見を出し合い活発な意見交換の場となりました。最後は、各班のリーダーが内容をまとめ発表してくれました。今回のOne Day夏期研修でインターアクター達は、学校の授業では得られない貴重な学びを得られたことと思います。

最後に今回の夏期研修に色々ご協力頂いた、国際ロータリー第2730地区の皆様へ感謝するとともに、これからこのご縁を大切に育んで参りたいと思います。有難うございました。



第1回クラブ職業奉仕担当者研修会を終えて



地区職業奉仕委員会 委員長 **上原 博一** (大津東RC)

地区職業奉仕委員会における2021-22年度(馬場年度)最初の事業である「クラブ職業奉仕担当者研修会」を府立京都学・歴史館(小ホール)において対面方式、そして会場内には下図のようなシステムを構築し、ウェビナー形式でのリモート方式を併用したハイブリッド研修会を開催させていただきました。参加者は、会場に直接出席していただいた馬場ガバナー、北河原パストガバナーをはじめ、各クラブ担当者、幹事団、委員を含め34名、zoomシステムでの参加者は143名、総勢177名の参加を得ました。

直接出席いただく人数については、感染対策を徹底するため各クラブ1名とさせていただきますが、このシステムのメリットは担当者にとどまらず会長、幹事をはじめ研修に関心あるロータリアンに複数参加していただけることです。

研修会の開始前には、事前にお願ひして馬場ガバナーにも加わっていただき、対面のメリットを生かし参加者同士の名刺交換等の挨拶、交歓もしていただきました。これもハイブリッドならではの風景ではと思っています。



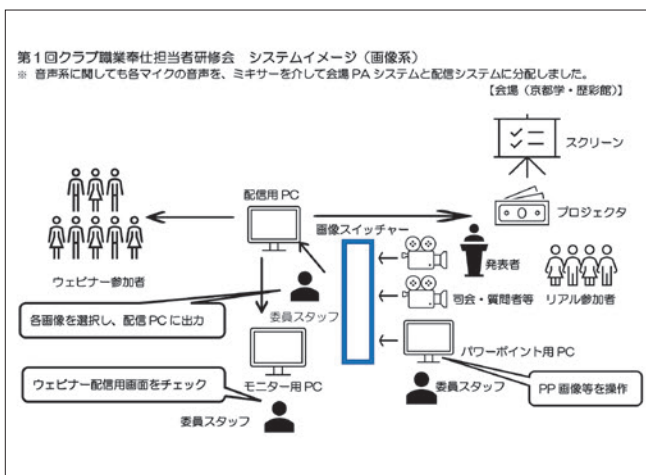
上原委員長による報告



中島前委員長による「四つのテストの真実」の解説

研修会では中島前委員長による「四つのテストの真実」と題して、様々なロータリーの基本文書の中で唯一変わっていない「四つのテスト」について、歴史的背景や今日のロータリー活動での活用などについて解説していただきました。質疑応答ではリアル、リモート双方の参加者から質問、意見があり、この方式でも違和感なく運営できたのではと考えています。後半は各クラブから回答いただいた前年度の職業奉仕事業に関するアンケートのまとめと分析、今年度の職業奉仕事業等のスケジュールについて解説していただきました。事後のアンケートでもハイブリッド方式の運営やプログラム内容についてほとんどの参加者が満足したとの回答をいただきました。

リアル、リモートに関わらず、お忙しい中、多くのご参加をいただいた皆様に感謝申し上げます



長岡京市に バドミントンの 支柱を寄贈

京都乙訓RC

京都乙訓ロータリークラブでは、毎年乙訓の地で開催されている全国の小学生が一堂に会して開催される「若葉カップ全国小学生バドミントン大会」に協賛をしているのですが、その会場となる西山公園体育館にネットを張る支柱14セットを寄贈した。というのも昭和63年の京都国体でバドミントン大会に使用されて以来、ずっと修繕を重ねながら使用されてきたのですが、さすがに劣化が激しくなってきたこともあり長岡京市の担当者との協議の末、今回の支柱寄贈を行うことになりました。

この「若葉カップ全国小学生バドミントン大会」は昨年から新型コロナウイルス感染拡大で中止になったため、今回が2年ぶりの開催となった。全国から男女計93チームが集い7月17日から19日までの3日間熱い戦いが繰り広げられた。

贈呈式は、長岡京市役所内で行われ同クラブの高間信和会長が目録を中小路健吾市長に手渡し、中小路市長が「支柱が新しくなりうれしい」と述べられ、この大会の卒業生が今回のオリンピックに出場されていることを聞き、大変感動を受け今後も末永くこの大会が続くことを祈念し、贈呈式は無事終了した。





中国原産の中・小高木。日本に入ってきたのは平安時代と伝えられ、長野、新潟、東北地方にはかなりの大木が見られます。芳香のある美しい黄色の大実が花梨の何よりの魅力ですが、春の可憐な桃花、秋の紅葉も味わい深いものです。さらに樹皮の剥がれた幹肌は雲紋状を呈し、独特の風合いを見せてくれます。一年を通じて見る者を飽きさせない樹種です。

花梨

「カリン」
バラ科ボケ属 樹高74cm

今月の一樹



鉢という限られたスペースの中で何十年、何百年と生き続ける「盆栽」。その生命力は「活力」に溢れ、四季折々の姿には「輝き」を感じます。地区スローガン「活力と輝き」を盆栽の名樹から感じ取って頂ければ幸いです。

国際ロータリー第2650地区 2021年7月 会員の動き

7月 入会者一覧

クラブ名	氏名	職業分類	クラブ名	氏名	職業分類	クラブ名	氏名	職業分類
綾部	大槻 宏徳	測量士	平城京	奥 孝男	警備保障	長浜	金井 雅史	生命保険
京都	安部 圭太	航空事業	平城京	坂内 利隆	造園業	長浜東	中村 和彦	建築型枠
京都	道岡 俊浩	都市銀行	平城京	藤原 隆夫	電気設備工事	長浜北	西川 周吾	商業銀行
京都	本多 文雄	ガス供給事業	奈良	安田 守	電気工事	大津中央	安田 旺司	興行
京都伏見	宇野 勇介	塗装工事業	奈良	秋吉 将臣	社会福祉	大津東	巽 美鈴	印刷業
京都伏見	亀尾 有希子	音楽教室経営	奈良	堀川 雅嗣	造園業	大津東	丹波 卯子	薬剤師
京都伏見	松田 裕之	食料品販売	奈良	野崎 勝義	菓子小売	高島	萬木 秀哉	貨物運送業
京都伏見	村本 吉隆	塗装工事業	奈良	有馬 憲治	梱包業			
京都東	福井 樹	建設	奈良西	丸山 佳映	総合建設			
京都東	佐野 啓治	保険	大和高田	吉岡 寛人	印刷			
京都南	橋本 吉弘	自動車小売	福井	金井 伸一郎	生命保険			
京都南	松田 正義	建築設計	福井	西岡 宏二郎	生命保険			
京都南	青山 啓二	旅行業	福井	辻橋 清和	民間放送			
京都南	幡歩 大嗣	電気工事	福井	鈴木 進治	住宅建築工事			
京都南	村井 健二	歯科医	福井北	豊嶋 雅子	プラスチック成形販売			
京都モーニング	萩 恒夫	税理士	福井北	永島 孝彦	化学繊維電子製品卸売			
京都紫野	豊田 南星	電気工事	福井北	高島 勝之	電気通信サービス			
京都西	岡本 夏樹	西陣織帯地製造	丸岡	戸崎 直弥	解体工事			
京都西	仲 雅彦	金融	三国	松尾 誠一	ホテル			
京都西	藤井 友行	ホテル	敦賀	師尾 直登	原子力発電			
京都洛中	山中 晋介	ホテル	敦賀	飛田 聡	電気事業			
京都洛北	神原 宏臣	損害保険	若狭	橋本 勝洋	税理士			
京都洛北	高山 勲	建築	びわ湖八幡	笠井 祐壺	料理店(和食)			
京都洛西	井上 剛	飲食業	びわ湖八幡	徳山 真也	建設業			
京都洛西	久保 新々	不動産売買	びわ湖八幡	中村 里香	弁護士			
京都洛西	森 真琴	着物デザイン	彦根南	松田 剛	旅行業			
京都洛西	前川 和則	生・損害保険代理店	湖南	鵜飼 潔	建設業			
京都洛西	風間 大介	システム開発、製造、販売	甲賀	岡島 智也	塗装			
京都洛東	山田 将宏	ぬいぐるみ・ノベルティ制作	甲賀	大場 昭範	ゴルフ			
舞鶴東	才田 幸久	電力供給	甲賀	東 安宏	税理士			
園部	飯田 学	石油製品販売	甲賀	茂呂 孝男	医療用製造(プラスチック)			
五條	小笠原 泰則	障害者施設	甲賀	野田 昌生	建築設計・管理			

7月 退会者一覧

クラブ名	氏名
京丹後	矢谷 平夫
京都東	中村 公紀
京都北東	西澤 颯
京都南	内田 昌一 ▲
京都紫野	川中 粂 ▲
京都洛東	奥村 直樹
平城京	三浦 教次
平城京	中橋 進吾
奈良	湯木 和則
福井東	大西 博之
福井北	河野 弘光
福井北	田代 幸一
福井西	松浦 政文
三国	山本 信次
大津中央	今井 重次 ▲

▲: 名誉会員へ移行

ご逝去会員一覧

クラブ名	氏名
京都紫竹	井上 弘之
奈良	笠置 侃一(名誉会員)
長浜	橋本 浩之
大津西	金井 長純



Shiga
Nara
Fukui
Kyoto

国際ロータリー第2650地区

2021-22年度ガバナー 馬場 益弘

【ガバナー事務所】

〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町614番地 新京都センタービル5階520号室
TEL: 075-343-2650 FAX: 075-343-2651 E-mail: gov2021-22@rid2650.gr.jp